

令和8年度予算案のEBPM「里親支援センター等人材育成事業」

課題データ

フォスタリング業務においては、里親の広報・リクルート及びアセスメント、里親に対する研修及び里親とのマッチング、里親養育への支援、委託児童の自立に向けた支援の各段階において、里親と子どもについての適切なアセスメント、里親との信頼関係を基盤とした里親養育のサポートやスーパービジョンに加え支援のコーディネートといったソーシャルワーク、チーム養育を実現するための関係機関との連携などがあり、その業務を担う職員の十分な専門性と支援を遂行するための資質・能力等が求められる。そのため、フォスタリング業務を担う職員が受講する研修の実施や、全国フォーラムを開催することにより、フォスタリング業務に従事する者の資質向上に加えてフォスタリング業務の担い手の確保を図るとともに、令和6年4月から児童福祉施設として新たに里親支援センターが位置づけされたことを踏まえ、里親養育の包括的な支援体制の構築への理解を深める必要がある。

事業

里親支援センター等人材育成事業

令和8年度当初予算案：80百万円

公募により選定された民間団体に補助を行い、
 ・研修の企画立案（カリキュラム、研修資料等）、講師の選定・招聘、研修の開催案内及び参加希望者の募集、修了証の交付等を実施する。
 ・里親支援センターやフォスタリング機関の担い手の掘りおこし、育成及び確保を目的として、里親支援センターやフォスタリング機関、自治体、里親会等の関係機関による全国的なフォーラムを開催する。
 ・里親支援センターに対する第三者評価業務に従事する者等の資質向上を図ることを目的とした研修を実施する。

※アウトプット、アウトカム（ ）内は直近の実績値

EBPM指標	アウトプット	里親支援センター等職員 研修実施回数 2025年度 7回（9回）	全国フォーラム開催回数 2025年度 2回（2回）	第三者評価機関職員 研修実施回数 2025年度 2回（2回）
	短期 アウトカム	研修受講延べ人数 2029年度 400人（334人）	全国フォーラム参加延べ人数 2029年度 1,000人（355人）	研修受講延べ人数 2029年度 100人（34人）
	中期 アウトカム	-		
	長期 アウトカム	里親等委託率（3歳未満児） 2029年度 75%（26.9%）		

